



和光市議会議員

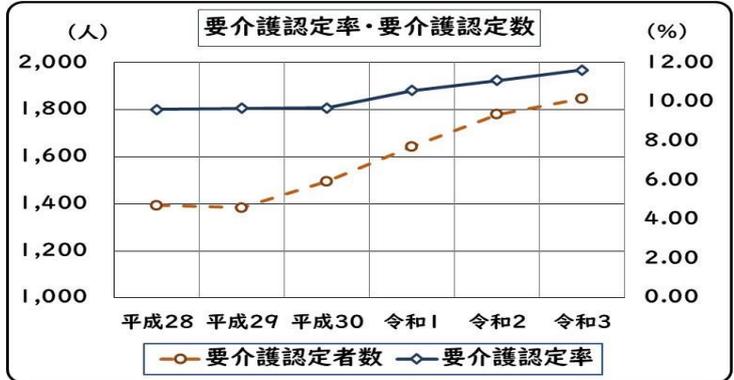
2023年 春季号

菅原 すがわら 満 議会報告

〒351-0111 和光市下新倉 3-14-21 / Tel&Fax048-462-8180 / nehemiah@passion.biglobe.ne.jp

令和5年度は、「和光市長寿あんしんプラン」の見直し

「統計からみた埼玉都市町村のすがた 2022」をみると、和光市の平均年齢は、42.3歳と戸田市の41.7歳の次に平均年齢が若いまちです。しかし、着実に高齢化が進んでいます。下のグラフは、決算時の資料から作成した介護関係の推移です。最近の新型コロナの状況もあるのか、介護度合いが上昇を示しています。新型コロナウイルス感染用の落ち着きが見られますが、生活機能の維持、介護予防に向け、継続した取組が重要です。

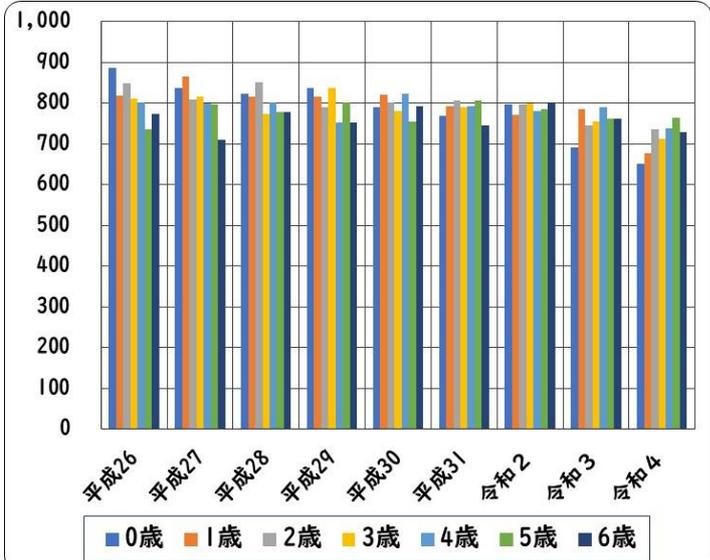


令和5年度は、長寿あんしんプランの見直しです。健康寿命の維持に向けた取組が大切です。(和光市の「事務事業評価」より作成)

- ### つながるまちづくり
- 新型コロナウイルスによるフレイルなど生活機能維持、介護予防と健康寿命
 - 連携した支援体制（障害・高齢・子ども・困窮）
 - 情報機器利用での視力などへの健康配慮や検診
 - 防災・減災、在宅避難や災害時の精神面のケア
 - 地域のつながりによる減災・知識と
 - 和光市BOSAIまちづくり伝道師の養成

- ### 学びの楽しさを実感できる
- 国際的な視野と技術の育成、ICTやIT・外国語
 - “ギフテッド”だれもが与えられた個性を生かす
 - 学び・学びなおしの機会の提供・まなびの意欲と交流の醸成
 - 学びに向けた入学準備金制度
 - 公民館を活かした地域のまなび・つどい
 - アメリカ・ワシントン州ロングビュー市との交流

◆下のグラフは、0歳から6歳までの人口の推移です。(和光市 Web、3月31日の人口ピラミッドから作成。) 0歳児人口が減少気味を示しています。◆人口の変化、保育ニーズの量の見込みの見直しをおこなった「第2期和光市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し」が、この3月に示されました。



- ### 主な取組について
- ◇医療的ケア児・家族への支援、在宅保育体制の整備 (令和4年)
 - ◇学校図書整備や読書への取組 (令和4年)
 - ◇LD・ディスレキシアへの取組 (平成8年、平成11年、平成18年)
 - ◇横断歩道への点字ブロック設置 (平成20年、平成28年、平成31年3月)
 - ◇介護職へのハラスメント防止・条例の制定検討 (平成30年、令和5年)
 - ◇認知症の徘徊などでの身元証明書携行や民間保険を利用した賠償保険の検討 (平成)
 - ◇災害時での被災者、対応職員、ボランティアの心のケア (令和1年、令和3年)
 - ◇IT教育について (平成12年)



一般質問から



質問：新型コロナウイルス感染拡大での介護サービスの利用控え、影響について。（令和5年3月議会）

答弁（保健福祉部長）：介護サービス給付種別によっては利用控えの影響が一部あったが、給付額全体で見ると年々増加傾向、または横ばいの状況であり、新型コロナウイルス感染症の影響は、明らかとは言えませんでした。

総合事業や一般事業については、一時閉鎖や人数制限、本人の意向によって利用減少がありました。それ以外でも運動や外出機会の減少で、身体機能や認知機能が低下したとして、介護サービスの申請を受けた ケースもみられました。

感染状況が落ち着いてきている状況ですが、感染対策を踏まえた持続的な介護サービスが必要と考えております。



質問：途中で障害を持った当事者や家族への総合的対応を進めていくことについて。（令和4年12月議会）

答弁（保健福祉部長）：途中で障害をお持ちになった方を含め、障害者手帳を新たに取得される方には、市役所の窓口で手帳を交付しており、その際にチャレンジドの手引を使って、各種福祉サービスを紹介しています。就労や収入の相談があった場合、専門の機関につなぐなど、必要なサービス利用いただけるように対応しているところです。

質問：障害者者手帳の所持者が増えてきている中で、相談支援体制を整える必要ではないか。（令和4年12月議会）

答弁（保健福祉部長）：障害福祉の相談支援業務を地域生活支援センターに業務委託している。各地域生活支援センターに精神保健福祉士や社会福祉士といった有資格の相談員を配置して、市民の皆様の相談に対応させていただいています。

質問：「無園児」（保育所、幼稚園にも通っていない就学前の子ども。）に関して、国が支援策の検討に入ると伝えられている。和光市での把握状況と認識について伺う。（令和4年9月議会）
※報道などで「無園児」という報道をされていました。



答弁（子どもあんしん部長）：2歳児までは幼稚園入園を希望している世帯や育児休業などを取得しているご家庭で過ごしている世帯なども数値を把握することは難しいと考えています。教育・保育給付認定または施設等利用給付認定をして、幼稚園、保育所などに通っていない3歳児から5歳児を無園児とすると、令和4年4月1日現在63人となっています。国の調査研究検討委員会の状況を注視していきます。

※国では、この3月に「未就園児等の把握、支援のためのアウトリーチの在り方に関する調査研究報告書」をまとめました。子ども家庭庁ができたことから、未就園児等の自治体での取組に対する支援が進むことが大切と考えます。

すがわら満のプロフィール

◇和光市議会・総務環境常任委員会委員 ◇朝霞和光資源循環組合議会議員

○(公財)富士社会教育センター客員研究員 ○埼玉民社協会理事

●歴任：和光市議会議長／和光市監査委員／朝霞地区一部事務組合議会議長など

●1958年（昭和33年）埼玉県秩父市生まれ

●東京都立豊島高校卒 ●成蹊大学法学部卒

●1991年（平成3年）和光市議会議員（以降、連続8期）

●1999年（平成11年）山梨学院大学大学院修士課程修了

○家族 妻、息子二人(幼い頃は、子連れて議会通いをしたこともありました。)



ご提言は
こちらからも